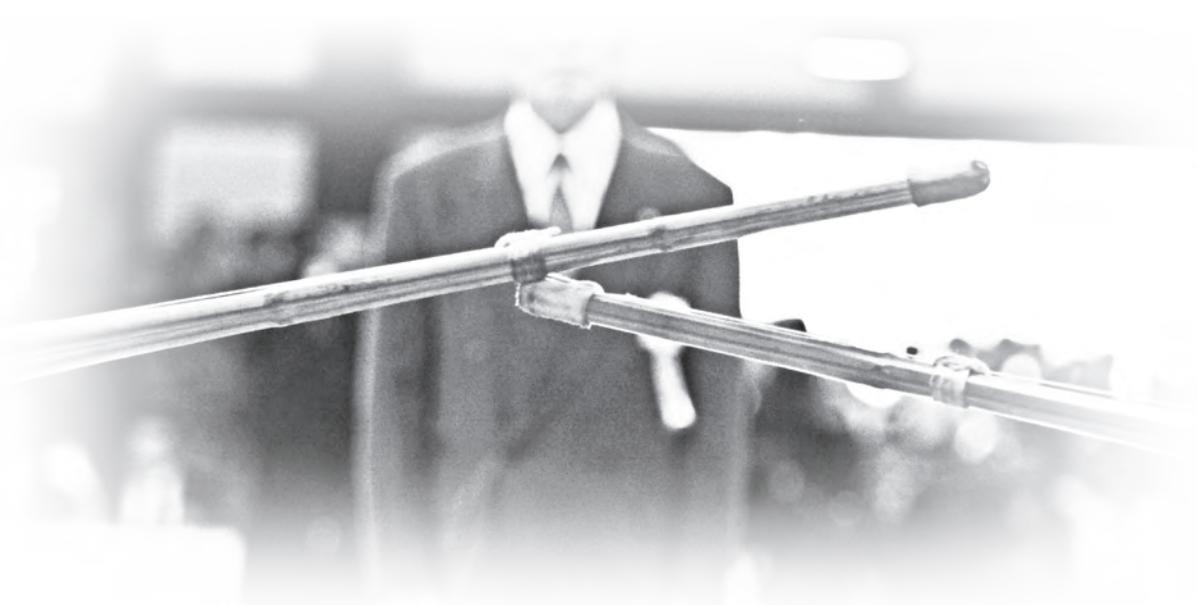




令和4年度

剣道錬成大会



令和4年8月28日(日)

会場：佐倉市民体育館

主催：佐倉剣道連盟

佐倉剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び 心身を練磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとらとび 信義を重んじ誠を尽して 常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して 広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである

(財) 全日本剣道連盟 昭和 50 年 3 月 20 日制定

剣道指導の心構え

【竹刀の本意】

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。

「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。

この修練を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

【礼 法】

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても、「礼節を尊ぶ」ことを重視する。

お互いを敬う心と形かたちの礼法指導によって、

節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

【生涯剣道】

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、
生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。

「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、

文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定 財団法人全日本剣道連盟

式 次 第

開 会 の 言 葉	佐倉剣道連盟 事務局長	石 橋 等
国 歌 清 聴		
大 会 会 長 挨 拶	佐倉剣道連盟 会長	川 邊 慎 一
審 判 長 説 示	佐倉剣道連盟 副会長	入 佐 国 彦
試 合	個人戦4部門	
表 彰		
審 判 長 講 評	佐倉剣道連盟 副会長	入 佐 国 彦
閉 会 の 言 葉	佐倉剣道連盟 事務局長	石 橋 等

大 会 役 員 (順不同・敬称略)

大会会長

佐倉剣道連盟 会長 川 邊 慎 一

大会副会長

佐倉剣道連盟 副会長 石 毛 勝 也
入 佐 国 彦

審判長

佐倉剣道連盟 副会長 入 佐 国 彦

会場主任

佐倉剣道連盟 理事長 高 柳 浩 一

大会役員

佐倉剣道連盟 参 与 石 橋 健
坪 内 東 公
伊 東 秀 郎
紅 林 智
加 藤 美 久
佐倉剣道連盟 会 友 大 田 忠 博
水 野 博
土 門 俊 和
佐倉剣道連盟 常任理事 長谷川 芳 幸
時 友 聡 朗
高 橋 圭 子
中 村 智 明
有 賀 享
佐倉剣道連盟 理 事 杉 山 好 子
長谷川 美奈子

佐倉剣道連盟 理 事 横井川 真

岡 雅 之

奥 野 駿 志

伊 藤 淳 俊

佐倉剣道連盟 監 事 五十嵐 孝 明

飯 田 伸 二

運営委員長

佐倉剣道連盟 事務局長 石 橋 等

運営副委員長

佐倉剣道連盟 副事務局長 完 倉 正 師

佐倉剣道連盟 会計担当 山 本 紀 雄

運営委員

佐倉剣道連盟 事務局員 鈴 木 茂 晴
浅 野 誠

選手誘導

印旛剣友会 押 田 晴 行

八街少年剣道教室 市之瀬 裕 太

北陽剣振会 藤 崎 晃 一

受 付

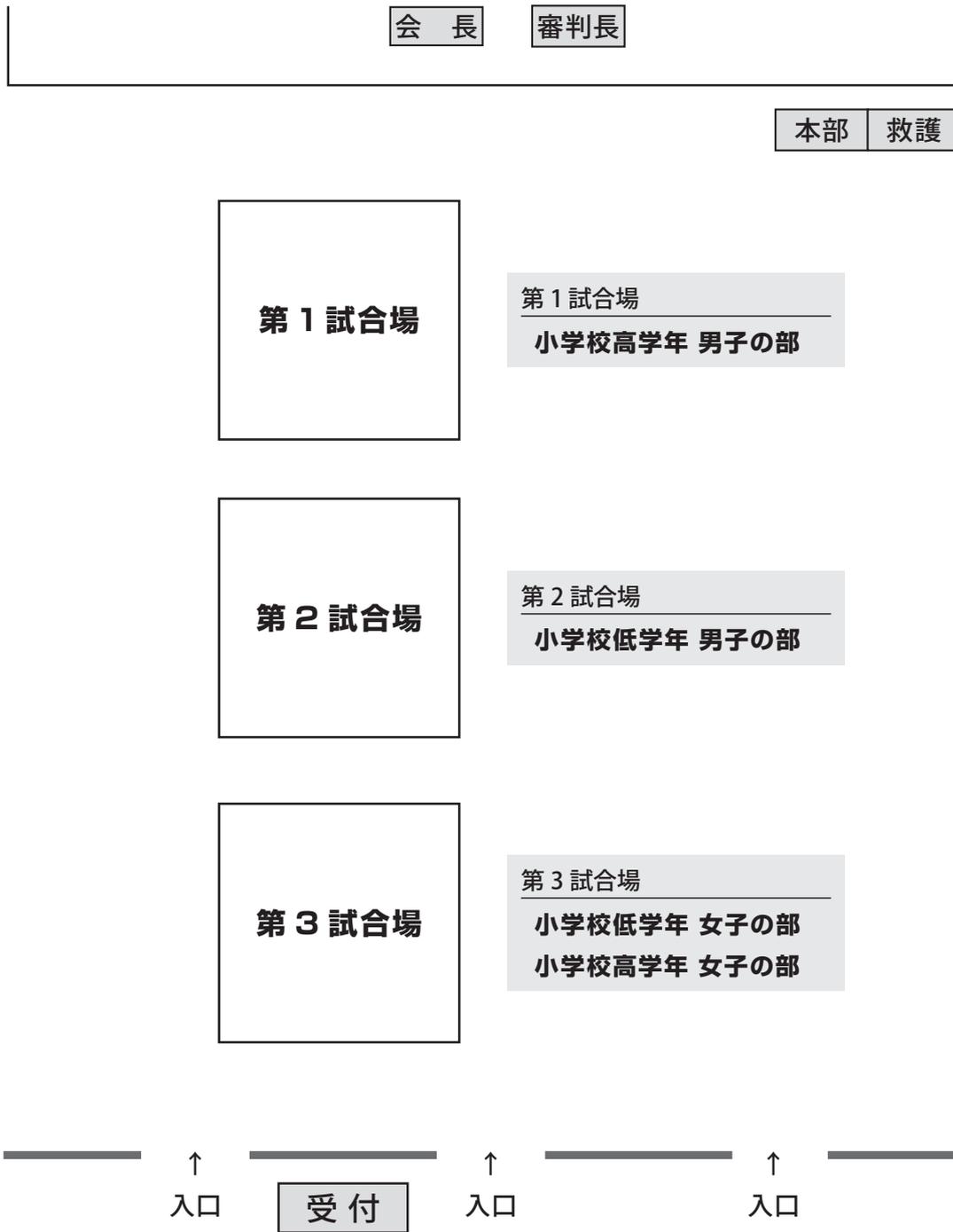
志津同好会 早 野 誠

志津同好会 篠 原 圭 介

救 護

中 村 真 優

試合場及び試合の順序



◎ 試合の順序・会場については、進行状況により変更する場合があります。
その都度「場内放送」を行いますので、ご注意ください。

審判員・会場役員 (順不同・敬称略)

審判員

第1試合場

川上剣友会 (主任)	近藤博
北陽剣振会	竹田重樹
印南剣道スポーツ少年団	中村智明
佐倉剣心会	長谷川美奈子
弥富剣道教室	山本幹夫
弥富剣道教室	田中眞次
印旛剣友会	江口浩之
酒々井町剣道教室	比連崎允彦
八街少年剣道教室	高橋一生
印旛剣友会	菊池南菜

第2試合場

川上剣友会 (主任)	菅原良爾
志津剣道同好会	手島利一
印南剣道スポーツ少年団	平田耕介
佐倉剣心会	林明男
印南剣道スポーツ少年団	清宮聡
志津剣道同好会	加賀美平馬
中志津剣友会	小川剛史
印旛剣友会	相川泰彦
八街少年剣道教室	伊藤孝幸
佐倉剣心会	長谷川達哉

第3試合場

根郷剣友会 (主任)	渡邊三千宏
志津剣道同好会	横井川真
印旛剣友会	石井健広
北陽剣振会	三橋博
酒々井町剣道教室	大谷通男
印南剣道スポーツ少年団	櫻井征基
印旛剣友会	飯田宏明
緑進館剣道場	藤崎英樹
印旛剣友会	末窪康平
中志津剣友会	岡智

会場役員

第1試合場

印南剣道スポーツ少年団	高橋悦子
印南剣道スポーツ少年団	歌丸俊司
川上剣友会	久保田恭治
川上剣友会	井上雄貴

第2試合場

根郷剣友会	高橋恵子
根郷剣友会	圖司順子
印旛剣友会	加藤雅弥
弥富剣道教室	佐藤京子

第3試合場

酒々井町剣道教室	瀨上淳
中志津剣友会	塚本英志
志津同好会	花島慶和
八街少年剣道教室	中志貴将

試合要領

1. 審判規則

全日本剣道連盟試合審判規則同細則及び主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法に基づき行う。

2. 試合方法

トーナメント方式による勝ち抜き戦とする。

3. 部 門

- ①小学校低学年 男子の部 ②小学校低学年 女子の部
③小学校高学年 男子の部 ④小学校高学年 女子の部 全4部門

4. 試合時間

◎2分(1分の延長1回ののち、判定)

※準決勝以降は、2分の延長を勝負の決するまで行う。(延長2回ごとに10分間休憩)

5. 表 彰

優勝、準優勝、3位(2名)に、賞状およびメダルを授与する。

6. その他

◎試合の順序・会場については、進行状況により変更する場合があります。その都度「場内放送」を行いますので、ご注意ください。

◎試合の順番になっても選手が試合場に来ない場合は、「場内放送」で呼び出しをします。

2回呼び出しても試合場に来ない場合は失格(負け)とします。

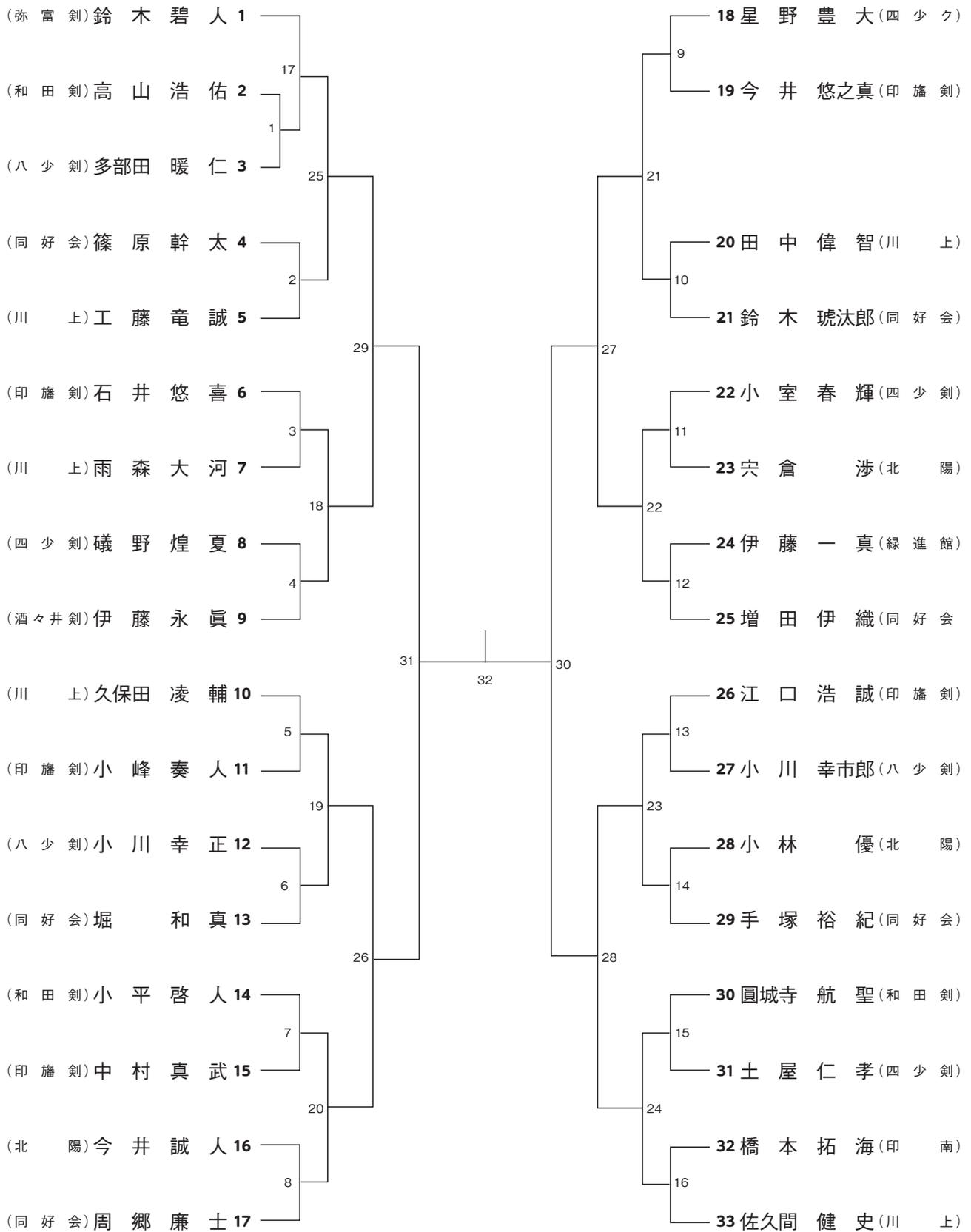
※小学生高学年は10月16日(日)に行われる千葉県剣道連盟主催による地区連盟対抗剣道優勝大会の選手選考のための大会となります。

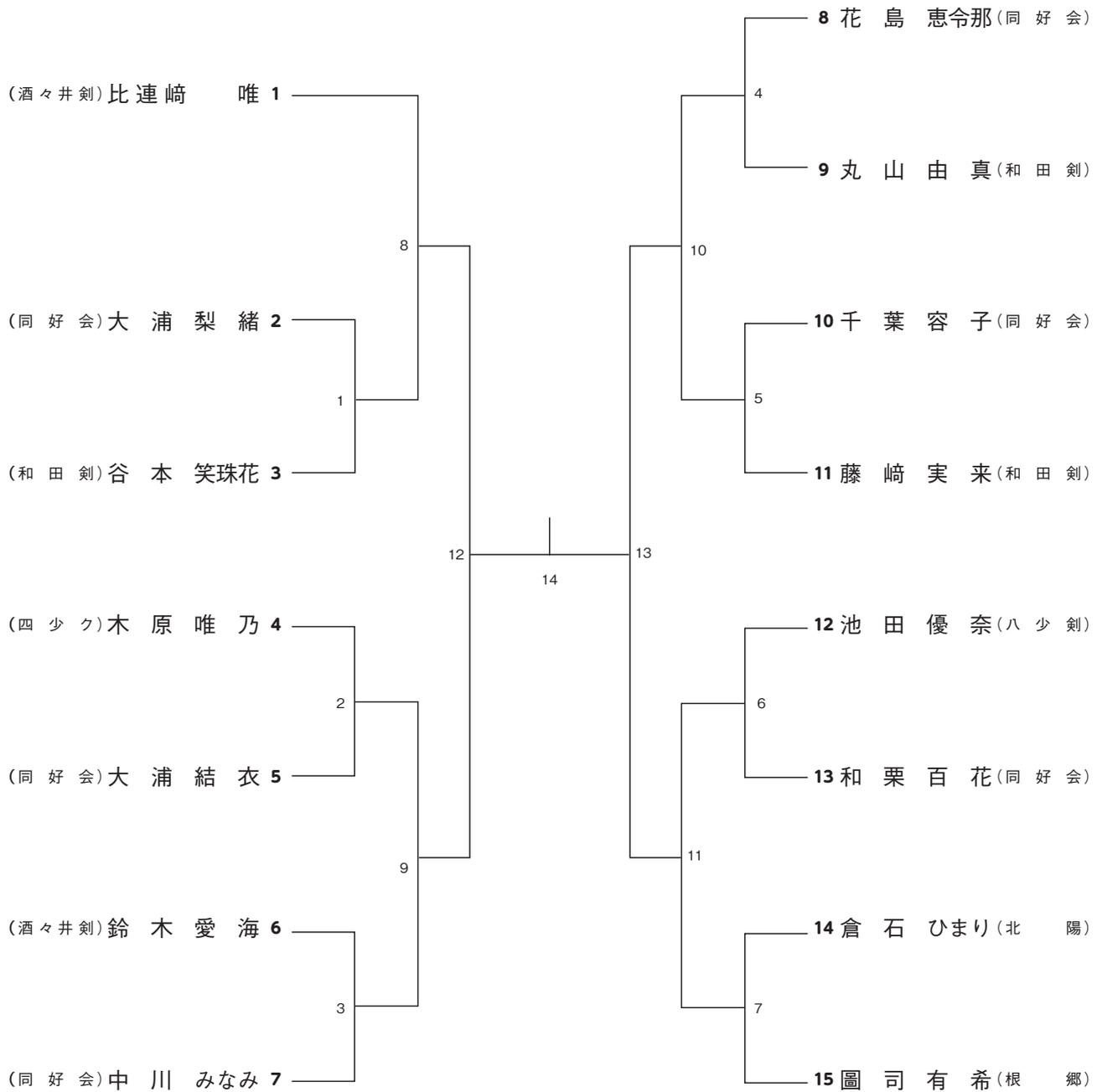
大会終了後、選手選考会を行います。
選手選考会出場選手は以下の通りです。

- | | |
|-------------------------|------|
| ・高学年男子の部：優勝・準優勝・第3位(2名) | 計4名 |
| ・高学年女子の部：優勝・準優勝 | 計2名 |
| | 合計6名 |

小学校低学年 男子の部

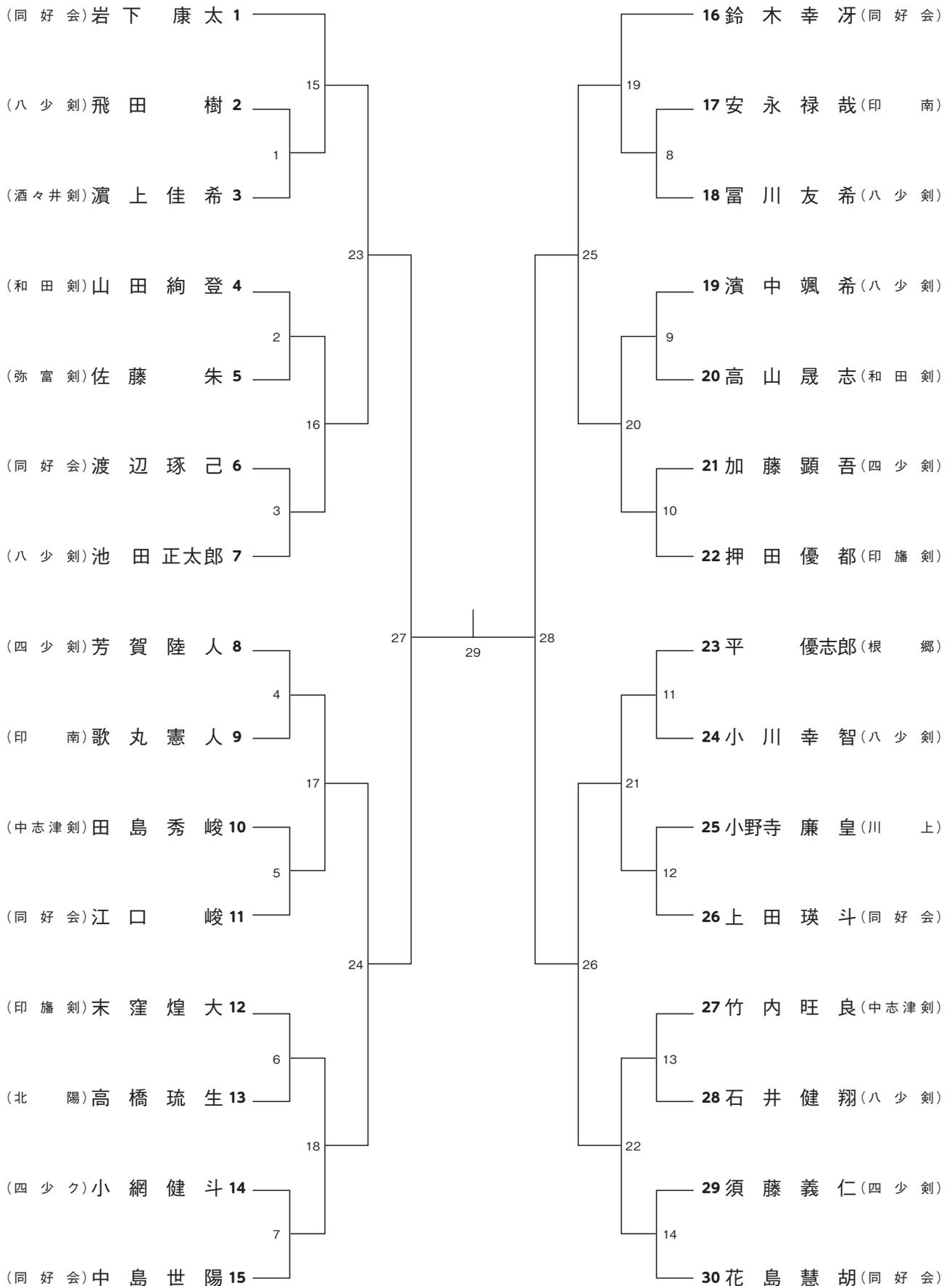
第2試合場

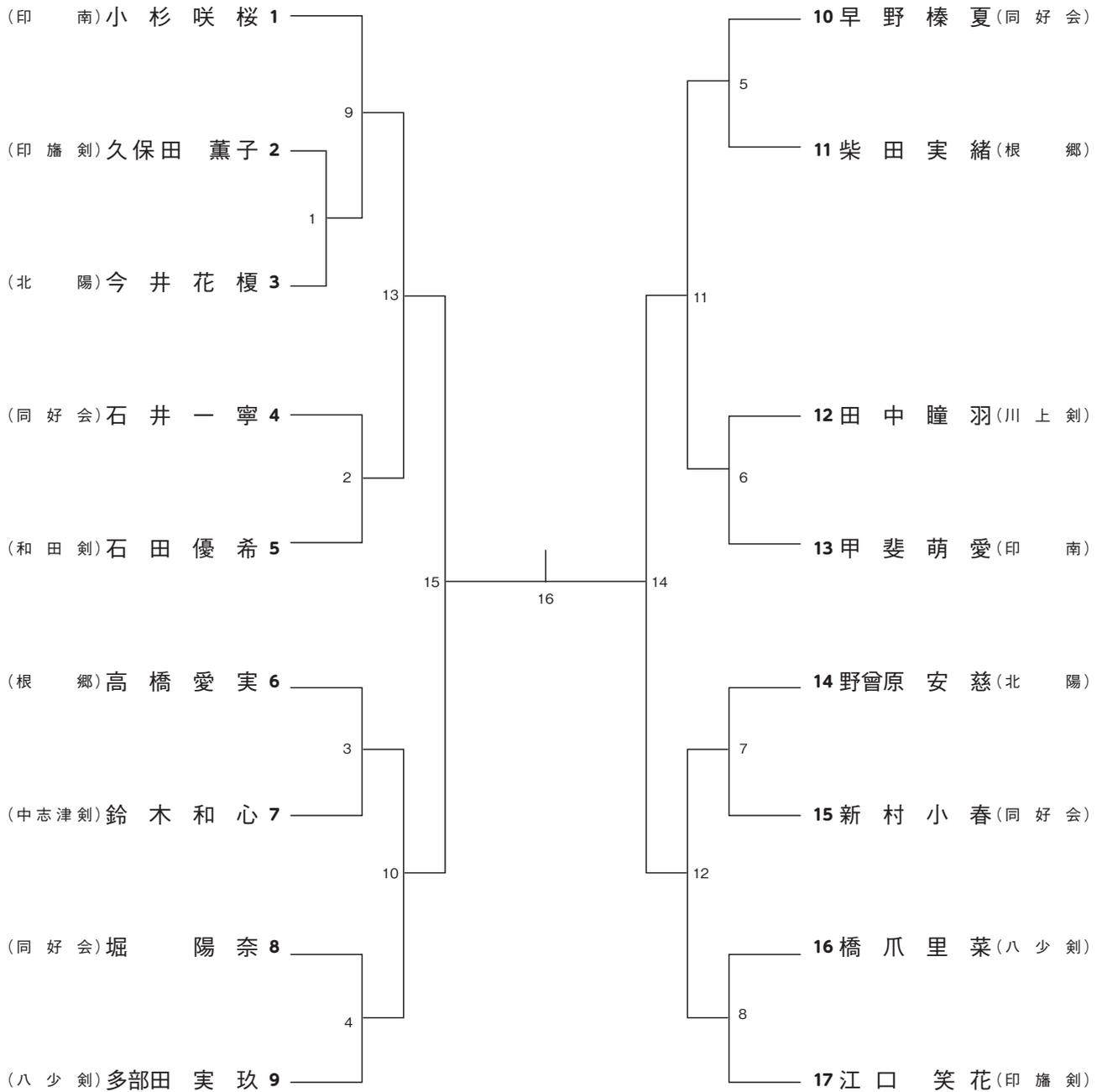




小学校高学年 男子の部

第1試合場







第46回

日本古武道演武大会

日時 令和5年2月5日(日) 会場 日本武道館

日本武道館 日本古武道 検索

◆主催 公益財団法人 日本武道館 <https://www.nipponbudokan.or.jp> 日本古武道協会 <http://www.nihonkobudokyoukai.org>

◆後援 スポーツ庁・日本放送協会・読売新聞社(以上、予定) ◆協賛 日本武道協議会・全国都道府県立武道館協議会



観覧についてのご案内：ご観覧の際は、マスクの着用など感染対策の徹底をお願いします。

お問い合わせ (公財)日本武道館 振興課 ☎03・3216・5134 東京都千代田区北の丸公園2番3号

公益財団法人
 日本武道館



第13回
鹿島神宮奉納

日本古武道交流演武大会



期日 令和4年10月2日(日) 9時45分開会

会場 鹿島神宮社殿前特設演武場

日本武道館 鹿島神宮

検索

■主催 (公財)日本武道館 日本古武道協会 ■協力 鹿島神宮 ■後援 茨城県 鹿嶋市 鹿嶋市教育委員会 鹿嶋市観光協会 鹿嶋市商工会 読売新聞社 ■協賛 日本武道協議会
■お問い合わせ (公財)日本武道館 振興課 ☎03-3216-5134 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2番3号

観覧についてのご案内 ご観覧の際は、マスクの着用など感染対策の徹底をお願いします。

公益財団法人
日本武道館